

富沢中学校生徒の体験学習実施

マネースクールでお金の大切さ実感



平成27年11月10日(火)～13日(金)の4日間、仙台市立富沢中学校さんのご依頼により当金庫大野田支店に生徒さん5人を招き、職場体験とマネースクールを開催いたしました。今回で6年連続の受け入れとなります。

この企画は、同校において中学校2年次における「社会体験学習」の一環として、警察、消防署、保育所、区役所、農園、流通業その他の民間企業等に生徒の受け入れを依頼し例年実施されております。

初日と2日目は大野田支店に集合して頂き店舗の案内や「貨幣の歴史」などに関する座学、職員との同行ポスティングローラー体験、また女性渉外担当者とお取引先に同行し、定期預金満期管理の実務も見学してもらいました。生徒さんとお客様の間でも話が弾んだようで「店に来るお客さんを待っているだけかと思ったら、信用金庫は職員の人がお客さんの方に出向くことがわかりびっくりした」「不正が行われないように小さな機械で証明書のようなものを作って渡していることがわかった」などの感想が生徒さん達から出ました。



3日目は生徒さんたち自身で地下鉄に乗り直接本店に来て頂きました。時間通りに全員揃って来ていただけたことは感心でした。理事長・専務と懇談をして頂き「理事長さん、専務さんとお話するのは大変緊張したけど、おおらかで優しい方だったので緊張もほぐれて話げできた。将来の生活せつけいのお話は楽しかった」との感想を頂きました。また、本部の金庫室内にも入って頂き1億円(1万円札1万枚、重さ約 10Kg)を持って頂き重さを体験して頂きました。「1億円はすごくおもたかった。将来あれくらいかせぎたい。」との感想は中学2年生らしく、微笑ましいものです。

最終日は「預金通帳の作り方」等を勉強して頂いた後、初日から練習していた「札勘(手でお札を数えること)」の総まとめとして2人ずつのチームに100枚の模擬紙幣を適当に分けて渡し、合計が100枚になるかどうかをゲーム形式で競いました。結果は全チームお見事に100枚のご名算。3日前にはお札の持ち方もわからなかった札勘なのですが、いつもながら中学生のみなさんの順応性の高さに驚かされる次第です。終了後のアンケートでは素直に「最初はあまり行きたいとは思わなかった」と言う生徒さんも「実際に来てみてとてもいい経験になった」「職場体験が宮城第一信用金庫でよかった」と書いてくれたので私ども役職員も対応させて頂いた甲斐がありました。富沢中学校のみなさんのお役に立てたなら幸いです。

